

核兵器は持たず 作らず 持ち込ませず…

政府は**非核三原則**を変えるな!

「終末時計」は残り89秒

「終末時計」をご存じですか?「終末時計」は「ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト」というアメリカの科学雑誌が、核戦争などで人類が滅亡するまでの残り時間を象徴的に示すために1947年から発表している数値です。

今年、「終末時計」が過去最短の「残り89秒」となりました。アトミック・サイエンティスト誌は「核保有国のロシア、中国、アメリカが攻撃的な振る舞いを続け、これまで人類が苦勞して築き上げてきた国際的な理解は崩壊しつつある」と指摘しています。

世界で戦争にまい進しているのはロシアやアメリカなど核保有国であり、実際に核兵器が使われる可能性も高まっています。

今こそ「非核三原則」は見直しではなく**厳守!**

世界で唯一の「戦争被爆国」として、日本には「核兵器は持たず・作らず・持ち込ませず」という、世界に類を見ない「非核三原則」があります。「残り89秒」の今、「非核三原則」は世界平和のために重要さを増しています。

しかし、高市首相は「非核三原則」の見直しを主張しています。「持ち込ませず」を削除し、アメリカの核兵器を在日米軍基地に配備可能としたいというのが持論です。これは、「核兵器のない世界の実現」という被爆者の願いに背き、核兵器廃絶の国際世論にも真っ向から背くものです。

核戦争が現実になりつつある今こそ、「非核三原則」は見直しではなく**厳守**すべきです。



議員定数削減は**ジェンダー平等**にも逆行

自民党と日本維新の会は、衆議院議員の比例定数を45削減する法案の、今国会での成立を狙っています。

2月の衆議院選挙の結果でも明らかとなり、1人しか当選しない小選挙区制は得票率以上の議席を大政党にもたらします。これに対して得票割合によって議席が決まる比例区制は広範な民意を反映し、女性議員を増やすことにもつながってきました。

その比例定数が45も削減されると、女性議員の数が大きく減る可能性があります。国会における女性議員の割合は衆議院で14.6%、参議院で30.0%であり、世界的にも極めて遅れた状況です。比例区の定数削減ではさまざまな国民の意見が国会に届かなくなり、国会内のジェンダー平等にも逆行します。定数削減に反対しましょう。

憲法共同センター(戦争する国づくりストップ!憲法を守り-いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03 (5842) 5611 FAX 03 (5842) 5620
<https://www.kyodo-center.jp/>

2026.5



kyodo-center.jp